

債権者登録兼支払金口座振込依頼書（新規・変更）

私が今後、国立市から受領する支払金については、次の預金口座に振込みすることを依頼します。この依頼書にもとづき、口座振込がなされたときは、同時に国立市から請求金の弁済は受けたものとします。

令和 年 月 日

国立市長 殿

1. 電話番号 TEL () -

2. 住所 〒

3. 事業所所在地 〒

4. 事業所名称(屋号)

5. 氏名

印

●請求書に押されるものと
同一の印をお願いします。

6. 生年月日 (明治・大正・昭和・平成) 年 月 日

<源泉徴収対象の方のみ記入>

↓会計課記入欄

7. 振込口座

(債権者番号)

振込先	金融機関名	銀行 信用金庫						信用組合 農業協同組合		店
	金融機関コード	店舗コード			預金種別		1. 普通 2. 当座			
	口座番号									
	フリガナ									
	口座名義									

※口座名義等は通帳で確認のうえ、正式名を記入してください。

- ① 振込口座は、個人口座が原則です。
- ② 源泉徴収(所得税控除)対象の方は、原則として別途個人番号提供書を担当課へ提出してください。なお、所得税控除の要否は担当課へご確認ください。
- ③ 源泉徴収対象の方は、本依頼書記載内容と個人番号提供書記載事項を会計課にて照合します。不明な点があれば確認させていただくこともございます。ご了承ください。

受領担当課 内線()担当者 【裏面ご確認下さい】

[受領担当課記入欄] 該当区分に○印 および 所得税控除有/無に○印

事業の種類 ・土地家屋調査士 ・建築士 ・不動産鑑定士 ・弁護士
・講演講師(個人として依頼)
・委員(非常勤特別職以外)
・その他()
[所得税控除 有 / 無]

[会計課使用欄]

源泉徴収対象事業の個人 :原則としてNo. 1, 2, 5, 6, 7 を相手方マスタに入力

源泉徴収対象事業の個人事業者:原則としてNo.1~7 を相手方マスタに入力

源泉徴収の対象事業に該当しない個人事業者:

原則としてNo. 1, 3, 4, 5, 7 を相手方マスタに入力

確認	審査・入力

変更手続きの場合、変更事項についてご記入ください。

変更事項 該当項目に✓をつけ、変更前の内容を記入してください。

- 電話番号
- 住所
- 事業所所在地
- 事業所名称(屋号)
- 氏名
- 振込口座[表面の通り変更します。]

※変更事項のみご記入ください。

変更前: